



本要項は、エントリー者全員に郵送でお送りいたしております。
 なお、コース図はホームページ上ではカラーで表示されております。
 インターネット環境のある方はホームページでご確認ください。

開催日

2007年3月11日(日)

開催地

日本サイクルスポーツセンター

〒410-2402 静岡県伊豆市大野 1 8 2 6 番地

T E L 0558-79-0001 F A X 0558-79-0518

【自動車】 東名高速道路沼津I.Cから45分

国道136号線から伊豆中央道（有料）經由大仁中央I.Cより伊東方面に8km

小田原から 60 分

箱根～伊豆スカイライン 亀石峠 I.C から 大仁方面へ 3 km

熱海から 50 分

国道135号線 宇佐美から大仁方面へ1.1km

【電車】 東海道新幹線 - 駿豆線 三島から伊豆箱根鉄道 修善寺からバス利用

東海道新幹線 - 伊東線 熱海から伊東線 宇佐美からタクシー利用 30 分

【バス】中伊豆東海バス 伊豆箱根鉄道 修善寺駅から中伊豆東海バスで15分（毎日運行）



競技内容・競技距離

【第7回日本デュアスロン選手権長良川大会】第1ラン 10km バイク 41.2km 第2ラン 5km

【第3回カーフマンジャパン年齢別選手権】第1ラン 5.15km バイク 30.9km 第2ラン 5km

【CSCキッズデュアスロン大会】 小学校高学年 1km - 5.15km - 1km

中学生 2km - 10.3km - 2km

【カーフマンジャパンオープンクラス】 ショートクラス 2km - 10.3km - 2km

スプリント 1km - 5.15km - 1km

大会スケジュール

3月10日 15:00 ~ 17:30 コース試走（逆走）

同封の選手証を提示して公園にお入りください。

同伴の方も選手と一緒にであれば無料で入園できます。

大会のバイクコースは5kmサーキット逆走になります。

本部前は設営作業を行いますので、十分に注意して走行してください。

15時以前に入場しても逆走による試走は行えません。（順走のみ可）

3月11日

午前 8:30 ~ 10:00 全クラス受付・コース試走

午前 10:00 ~ 開会式・競技説明会

午前 10:15 ~ キッズデュアスロン大会、カーフマンオープンクラス競技開始

午前 11:10 ~ 第2回カーフマンジャパン年齢別選手権競技開始

午前 11:30頃 ~ キッズ、ジュニア、オープンクラス表彰式

午後 0:00 ~ 日本デュアスロン選手権追加受付、レースミーティング

午後 0:40頃 ~ 第7回日本デュアスロン選手権（男女）競技開始

午後 3:40頃 ~ 表彰式 / 閉会式 / お楽しみじゃんけん大会

表彰

<第7回日本デュアスロン選手権兼カーフマンチャンピオンシップ>

● 日本選手権表彰

男女各1～3位 メダル（日本トライアスロン連合賞）

カーフマンジャパン・チャンピオンシップ表彰

➢ 男女各1位 優勝カップ

➢ 男女各1～6位 賞状及び副賞

● カーフマンポイントランキング表彰

男子1位 副賞（FELT完成車）進呈

男女各1～6位 強化費支給

<第3回カーフマンジャパン年齢別選手権大会>

各クラス上位 1～3位（メダル及び副賞）

<CSCキッズデュアスロン大会>

小学生の部 学年別上位3名（メダル及び副賞）

中学生の部 男女別上位3名（メダル及び副賞）

<カーフマンOPENクラス>

男女各1位（計4名） 賞状及び副賞

<クラブ対抗戦>

- 同一クラブポイントの総合計 1位～3位

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位以下
ポイント	20	15	10	9	8	7	6	5	4	3	1

ただし、キッズ、ジュニアは学年または男女別にはなりません。カテゴリー順位に対してポイントが与えられます。

大会前日・当日の進行と諸注意

1. 前日（3月10日）

午後3時より、同封の選手証を提示いただければ無料で入園できます。午後3時以前に入園をご希望されるかたは入園券をお買い求め下さい。付き添いの方も選手と同時入園であれば入園料はかかりません。

午後3時より、17:30まで逆走でのコースの試走が可能です。ただし、怪我の無いよう、下り坂、コーナーでは十分に減速してください。また、本部前のコース上ではランジッションエリアの設営作業を行います。十分な注意をお願い致します。

宿泊希望者はサイテルに直接ご予約ください。シングルルーム、ツインルームは数が少ないのでお早めに。宿泊料金は現地のフロントにてお支払いください。

2. 当日選手入園

選手入園は、8時30分からとなります。日本サイクルスポーツセンター正面入場口です。

同封の選手証をゲートにてご提示ください。同伴の応援者は同封の応援者割引券をご提示いただけますと、割引料金にてご入園いただけます。1枚で5名まで有効です。

受付の際に、同封の誓約書をご提出ください。

本最終要項に同封されている誓約書に署名・捺印の上、受付へご提出ください。

なお、本要項の封筒の宛名ラベルに「誓約書済」の文字が印字されている方は、すでに誓約書を頂いている方ですので不要です。未成年者は、保護者の署名・捺印がないと、出場できません。

受付完了後、以下の物品をお渡しします。

【受付にて渡されるもの】

レースナンバー2枚、大会プログラム

ナンバーシール（バイク用、ヘルメット用 各1枚） 参加リュック引換券 左記2点は1枚のシートに印刷
トラバック及び参加賞（カップ麺、バナナ、CCDドリンク等）

■CSCKッズデュアスロン大会、カーフマンオープンクラスにリュックはつきません

■受け取り後、必ずレースナンバーが選手ご自身のものであるか、確認してください。（なお、レースナンバーは、事前にインターネットでご確認頂けます（<http://www.calfman.jp>））

3. 会場内（サイクルスポーツセンター内）での注意事項

競技のメイン会場（スタート・フィニッシュ地点）は、【公園内5kmサーキット】です。

選手駐車場から、徒歩で5分程度要しますので、競技時間に遅れないようにお願いします。

自転車はレース時以外、園内では必ず押して歩いてください。

競技中も、公園は一般開園中です。来園者、観客、特にお子様には十分注意し、危険のないよう十分な配慮をお願いします。

エイドステーションでの紙コップ等は、所定の場所、もしくはエイド付近に捨てるよう心掛けてください。

競技中に飲食した補給食等のごみ、会場内で生じたごみは、指定の場所に捨てるか、できれば各自が持ち帰るようご協力をお願いします。

競技中、緊急車両が通行する場合があります。その場合には速やかに道を譲ってください。

更衣室は、5kmサーキット自転車持ち出し2階更衣室をお使いください。

コインロッカー（１００円、使用后返却）は入場ゲート入って左横の体育館にございます。数はあまり多くありませんので、単身参加の方以外は極力応援の方におあずけください。

シャワー室はございませんが、温泉施設（ゆ～サロン）が選手証の提示で２００円でご利用できます。

4.車検

車検等はいませんが、各自の責任において点検整備を行うほか、バイクショップ等での整備をお勧めします。会場内のメカニックサービスを受けることも可能です。パーツ代などは実費分いただきます。

5.レースナンバーの取り付け

レースナンバーは、必ず上半身のウェア前面・背面にナンバーが確認できるよう取り付けてください。ナンバーシールはヘルメットの前面と、バイク右側側面に貼ってください。

6.アンクルバンド

スタート１０分前になりましたら、スタート付近の召集テントで計測用のアンクルバンドを受け取り、必ず足首に装着してください。その際、アンクルバンドに書かれたナンバーが、選手ご自身のレースナンバーと一致しているかを確認してください。

アンクルバンドには、発信器が内蔵されており、固有のナンバーが登録されています。

他の選手と絶対に交換しないでください。

アンクルバンドは競技中ははずさないでください。

装着後は、競技開始までスタートエリア内でそのまま待機をお願いいたします。特に前のグループが競技中の場合は、計測マット（緑色）に近づかないようにして下さい。

アンクルバンドは競技終了後、回収します。アンクルバンドの紛失、故意による破損、持ち帰りは、¥5,000を請求させていただきます。

7.ドラフティング競技規則

後述のJTUルールブック抜粋を良くお読みください。

年齢別選手権は『第２節ドラフティング禁止レース』を

エリート選手は『第３節ドラフティングレース』を熟読してください。

規定に合わないハンドルでは出走できません。

なお、年齢別選手権、ＣＳＣキッズデュアスロン大会共にDHハンドルは禁止です。

DHハンドルをご自分ではずしてご参加をお願い致します。

8.棄権の申告

棄権する方は、レースナンバーを外してからコースを離れ、大会本部に戻ってください。
大会本部にてアンクルバンドを返却した時点で、棄権とします。

9.荒天の場合

荒天の場合は、中止、または距離、内容の変更を実行委員会で午前６時に決定します。中止、変更があった場合でも、参加費の返還は行いません。また、会場までの交通費の補償なども行いません。

10.総合成績表の発行

郵送希望をされている方には、後日総合成績表を郵送いたします。インターネットでお申込みいただいた方は、下記のホームページで結果を閲覧・ダウンロードしてご覧ください。

カーフマン・ジャパン公式ホームページ

<http://www.calfman.jp>

エムスポ(MSPO) ホームページ

<http://www.mspo.jp>

11.大会保険について

大会保険に基づき、大会中の事故を補償します。ただし、故意、犯罪行為、麻薬などの使用、精神障害、他覚症状のない“むちうち症”または腰痛、大会直前12ヶ月以内の既往症と因果関係のある疾病による身体障害、地震、噴火、津波、戦争の他の争乱などは、対象外となります。

- ・死亡 1,000 万円 ・入院日額 5,000 円 ・通院日額 2,500 円
- ・賠償責任 1 億円 免責 1 万円

12.お湯のサービス

カップ麺が参加賞として配布されます。すぐに食べられますようお湯のサービスを致しております。参加賞以外の持ち込みのスープ、コーヒーなどにもどうぞお使いください。

13.当日参加

当日参加は、エントリー費は1000円増し（年齢別選手権9000円、CSC キッズデュアスロン4000円）となります。参加希望のご友人など、お誘いあわせの上ご参加ください。

但し、当日参加枠に制限がありますので、早いもの順にご案内させていただきます。参加表明は極力お早めにお申し出下さい。

14.お問い合わせ・ご連絡先

カーフマン・ジャパン・デュアスロン GP 大会事務局

〒206-0802 東京都稲城市東長沼 2120-6 グラン・ヴェルジェ 104

TEL 042 - 379 - 5201（受付時間 月～金 10:00～17:00）

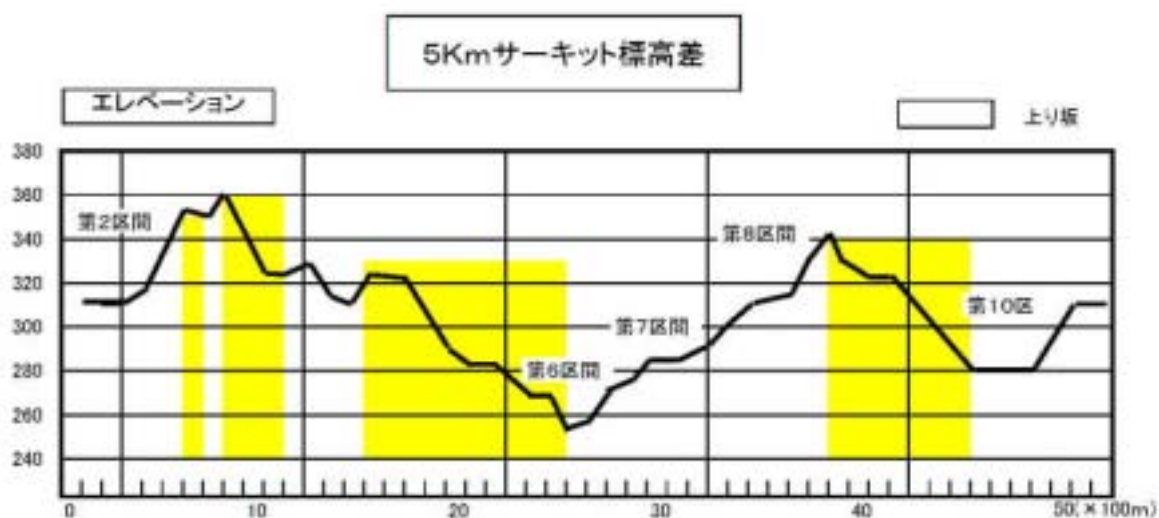
FAX 042 - 379 - 1992

E-mail calfman@mspo.jp

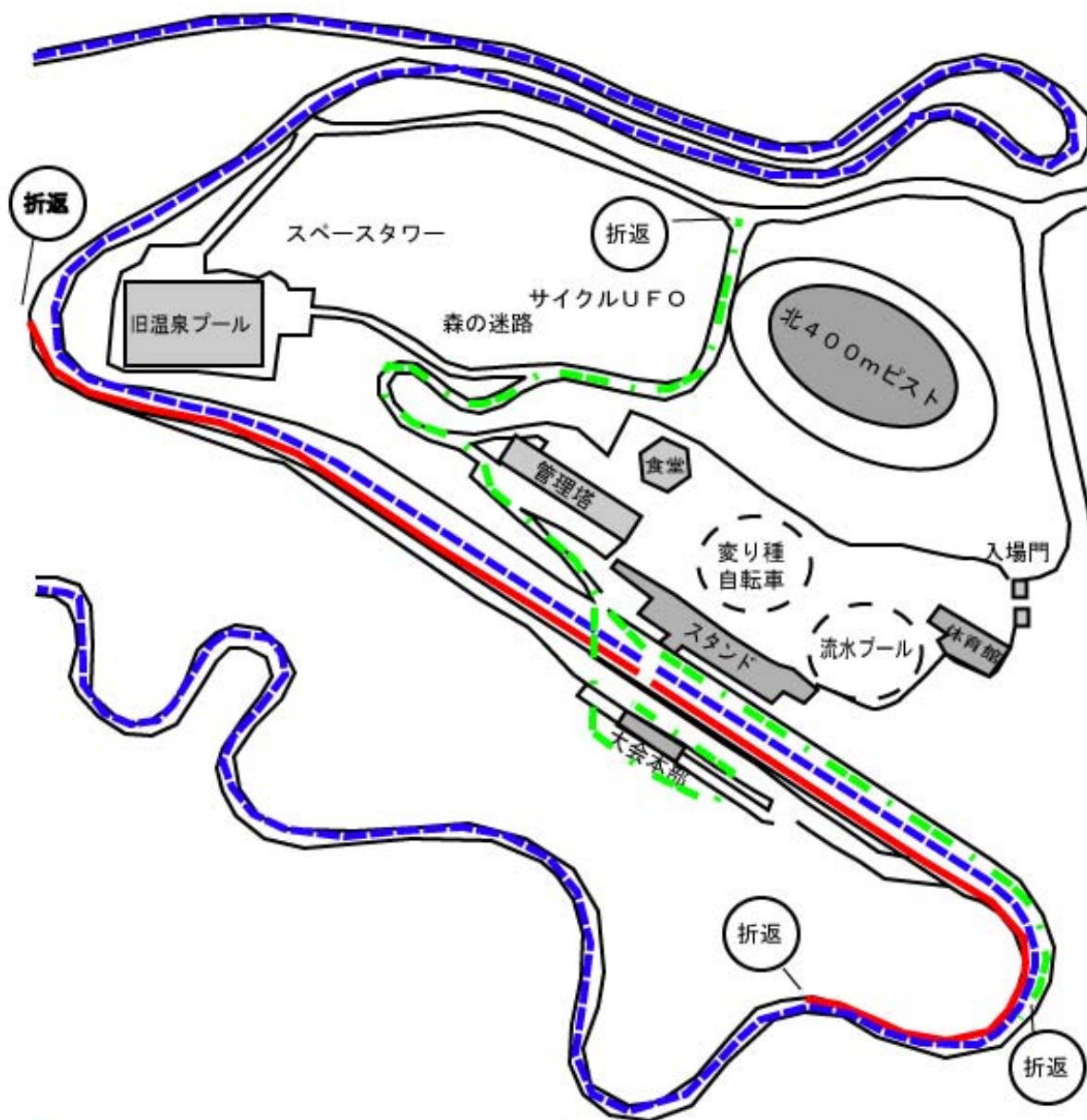
受付時間外における緊急のご連絡、および大会前日・当日のご連絡は

TEL 090 - 8742 - 2983

までお願い致します。



使用コース全体図



キッズ・ジュニア・エリート、第1・第2ランコース

年齢別選手権第1ランコース、及び全クラスバイクコース

年齢別選手権第2ランコース

ジュニア・キッズ・オープン、第1ランからバイクへ

スタートから5 kmサーキットを逆走、500 m地点で折り返して帰ってきます。
キッズ、スプリントは1周回、ジュニア、ショートは2周回になります。



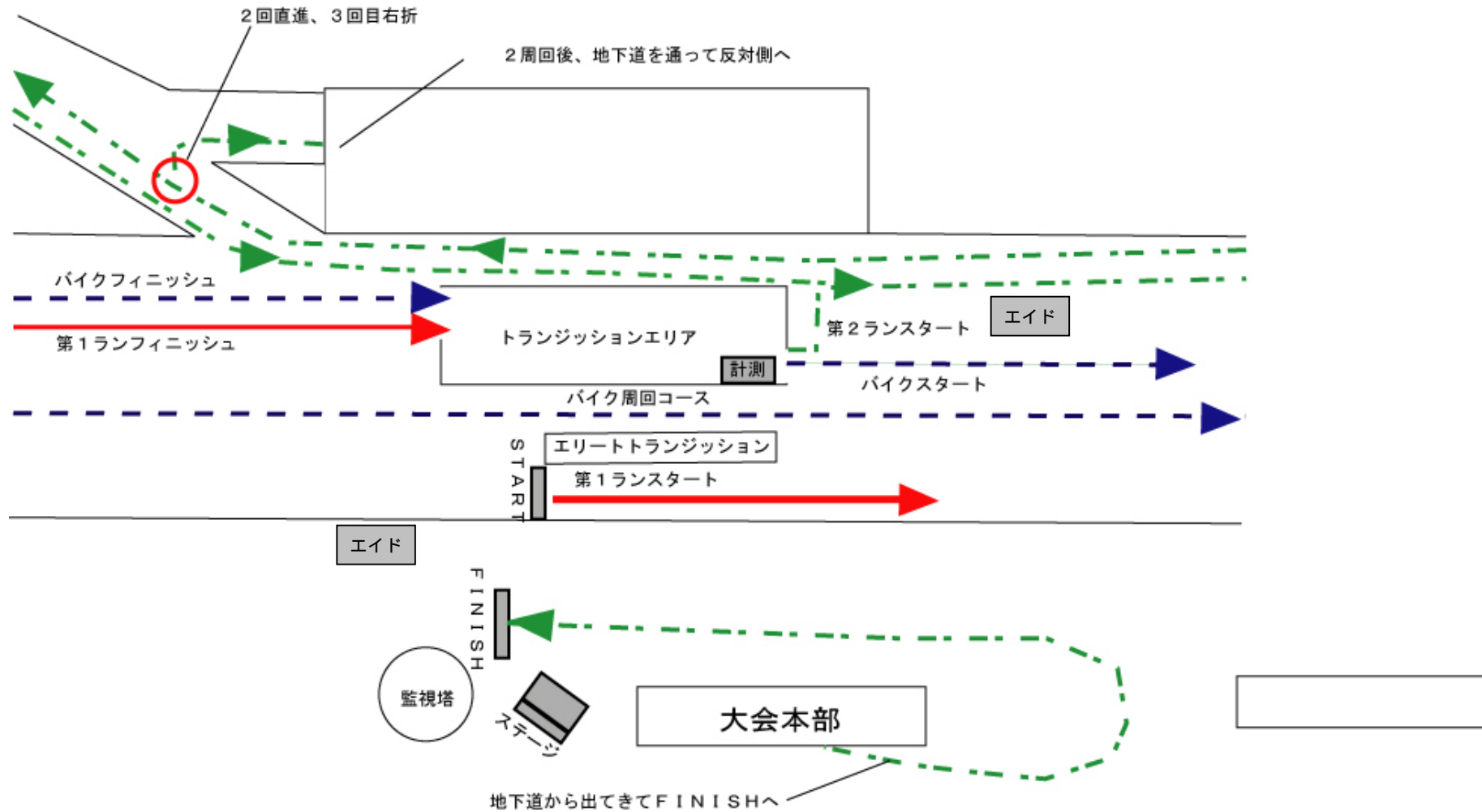
ジュニア・キッズ・オープン、バイクから第2ランへ

バイクは5 kmサーキットコースを、キッズ、スプリントは1周、ジュニア、ショートは2周します。
第2ランは、第1ランと同じコースです。キッズはそのままフィニッシュ、ジュニアは2周回します。



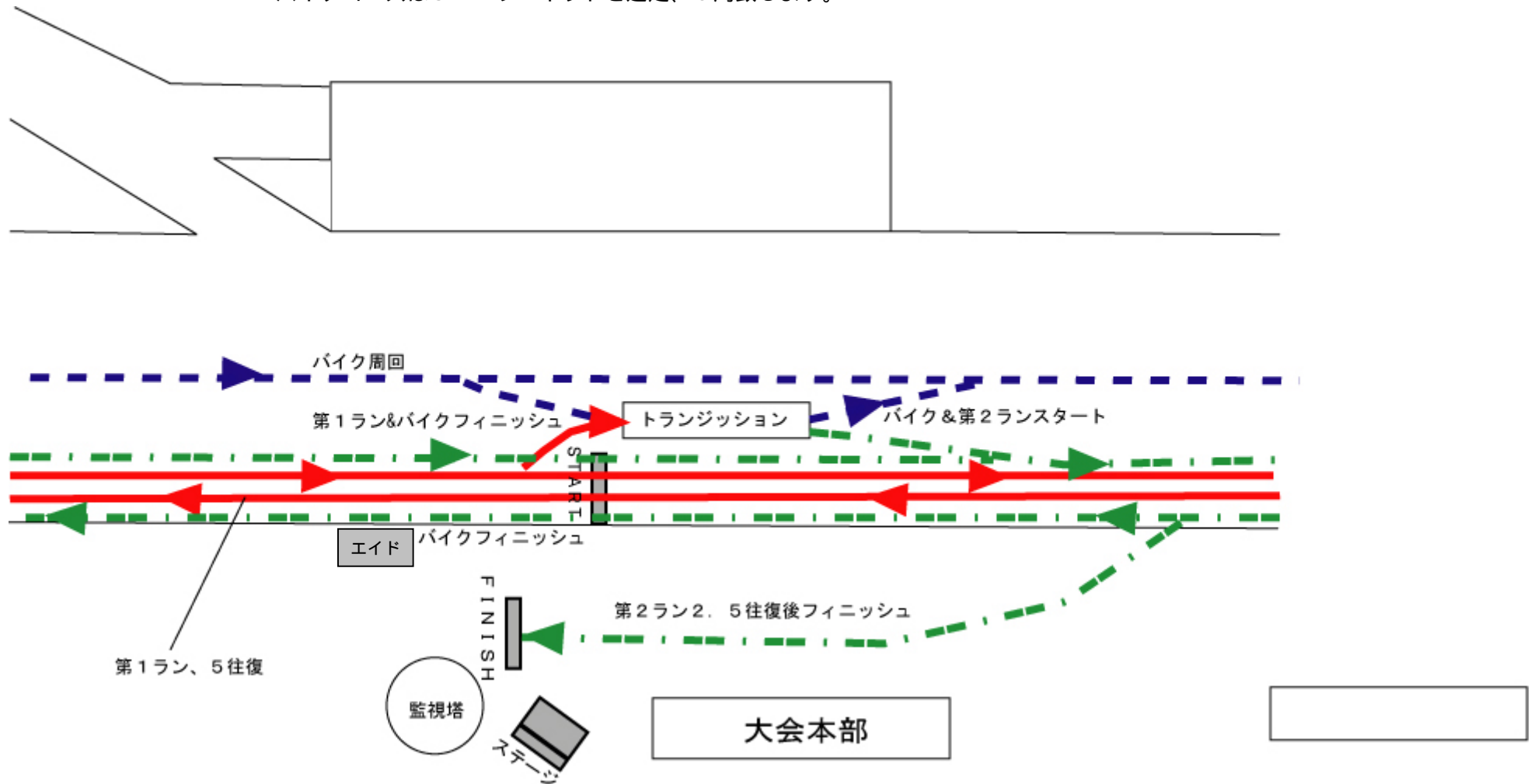
年齢別選手権コース図

- ・ 第1ランは、5 kmサーキットを1周
- ・ バイクは5 kmサーキットを6周
- ・ 第2ランは、一部5 kmサーキット外を含む、往復コースを2 . 5 往復してから、コース下の地下道を通り、反対側の本部前でフィニッシュします。



日本選手権兼カーフマンチャンピオンシップコース図

- ・ 第1ラン、第2ランともに同じコースを使います。
- ・ スタート位置から上流500m、下流500mにそれぞれ折り返しポイントがあります。(1往復2km) 第1ランはそれを5往復、第2ランは2.5往復致します。平坦部分が全く無いハードなコースです。
- ・ バイクコースは5kmサーキットを逆走、8周致します。



ドラフティング禁止ルールとドラフティング許可ルールについて

今回の大会は、日本選手権はドラフティング許可ルール、それ以外のレースはドラフティング禁止で行われます。以下に、JTU ルールブックからの抜粋を引用いたしますので、エリートレースの方は第3節を、それ以外の方は第2節を熟読してください。特にエリートレースに出場する選手で、規定外のハンドルの自転車を持ち込まれた方は出場できなくなる場合も考えられますので、ご注意ください。

第2節 ドラフティング禁止レース (Draft-illegal Race)

(ドラフティング禁止レース)

第87条 一般の大会及びロングディスタンスの大会はドラフティング禁止レース（バイク競技におけるドラフティングを禁止するレースをいう。）とする。

(ドラフティングの定義)

第8章 バイク（自転車）

第88条 「ドラフティング」とは、他の競技者又は車両のドラフトゾーンの中に入って走行する行為をいう。

2 競技者のドラフトゾーンの範囲は、バイクの前輪の最前部を基点として、後方7m、横幅3m（前輪を中心として左右それぞれ1.5m）の内側とする。

3 車両ドラフトゾーンの範囲は、車両の最前部の中心を基点として後方35m、幅5m（左右それぞれ2.5m）の内側とする。

(キープレフト走行)

第89条 ドラフティング禁止レースにおいては、「キープレフト」を守り競技を行うものとする。

2 キープレフトとは路肩あるいは競技コース左端から1m以内を基準として走行することである。

3 前項の規定にかかわらず、完全交通規制が敷かれ、コース幅が十分に広いときは、競技コース幅の左端より1/3を基準して走行することができる。

4 バイクコースが全面交通規制で、かつ、一方通行などの特別な条件である場合を除き、道路のセンターラインを越えて走行してはならない。

(並走の禁止)

第90条 ドラフティング禁止レースにおいては、並走したままバイク競技を行うことを禁止する。ただし、危険回避のためにやむをえないときはこの限りでない。

2 前項ただし書きにより併走したときは、危険が回避された場合、直ちに並走を解除しなければならない。

（集団走行の回避）

第91条 ドラフティング禁止レースにおいては、ドラフトゾーンに進入しているかどうかに関わらず、集団走行とならないよう心がけながら競技をしなければならない。

（ドラフトゾーンへの進入）

第92条 ドラフティング禁止レースにおいて競技者は、他の競技者のドラフトゾーンに進入することを禁止する。ただし次の各号に掲げるときに取りドラフトゾーンへ進入することができる。

- (1) 第94条に規定する方法で先行する競技者を追い越すとき。
 - (2) 危険回避のためにやむをえないとき。
 - (3) トランジションエリアの出入り口及び合流地点の付近を通過するとき。
 - (4) 減速指示又は追い越し禁止の指示がある鋭角ターン及び折り返し地点の付近を通過するとき。
 - (5) 道路幅の減少、工事区間、迂回路、その他安全上の理由により、大会スタッフから指定された区間を通過するとき。
- 2 前項ただし書きの規定により、他の競技者のドラフトゾーンに進入するときであっても、必要最小限の時間とし、かつ、安全確保に努めなければならない。
- 3 車両ドラフトゾーンへの進入は、危険回避のためにやむをえないときを除き、禁止する。
- 4 競技者は、自ら他の競技者のドラフトゾーンへ進入しないよう心がけながら競技をしなければならない。また、

-44-

他の競技者がドラフティング走行をされているときは、これを拒否することができる。

（ブロッキング）

第93条 ドラフティング禁止レースにおいては、第29条第2項の規定によるもののほか、次に掲げる行為をブロッキングとみなし禁止する。

- (1) 先行する競技者を追い越したとき、追い越した競技者のバイクの前輪の最前部から追い越された競技者のバイクの前輪の最前部までの間隔を7m以上開けないで追い越した競技者がキープレフト走行に入ること。
- (2) 他の競技者の右側を、他の競技者と同一の速度を保ったまま走行を続けること。この場合において、他の競技者のドラフトゾーンに進入しているかどうかを問わない。

（追い越しと手順）

第94条 追い越しを試みているときは、1.5秒以内に限り、他の競技者のドラフトゾーンに進入できる。

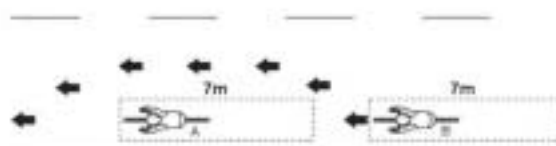
- 2 「追い越しを試みている」とは、追い越す気持ちを持って前進している状態をいい、先行する競技者のドラフトゾーン内において先行する競技者と同一の速度を保ったまま走行しているときは、追い越しを試みているとはみなさない。
- 3 先行する競技者は、追い越されるまでは加速をして競うことができる。

-45-

- 4 追い越しを試みている競技者のバイク前輪の最前部が、先行する競技者のバイクの前輪の最前部より前方に出たときに「追い越された」とみなす。
- 5 追い越した競技者は、追い越すときの速度を維持させ、追い越された競技者の前輪の最前部から7m以上引き離してから、緩やかにキープレフト走行に入るものとし、キープレフト走行に入る前に速度を緩めてはならない。
- 6 追い越された競技者は追い越された瞬間から加速を止め、1.5秒以内に追い越した競技者の前輪の最前部から後方7m以上離れてドラフトゾーンから脱しなければならぬ。
- 7 追い越された競技者は、前項の方法により一度追い越した競技者のドラフトゾーンから脱する前に後方へ戻してはならない。
- 8 追い越しを試みている競技者が、1.5秒以内に先行する競技者を追い越すことができないときは、この時間内に先行する競技者のドラフトゾーンの後方に脱しなければならぬ。
- 9 複数の先行する競技者を追い越す場合において、それらの競技者の間に入ることによってドラフトゾーンの重なりが生じるときは、これらの重なりの中に入ることなく一気に追い越さなければならない。
- 10 追い越しの手順のイメージ図は次のとおりとする。

—46—

第8章 バイク（自転車）



□追い越しを試みる B は車線を変更し、一気に追い越す。その後、徐々にキープレフト走行に入る。

□A はキープレフトを守り、追い越されたら、加速してはならない。

（追い越すときの注意義務）

第95条 追い越すときは、周囲を確認してから前方の競技者の右側から追い越すことを基本とする。

2 Uターン、急カーブ並びに視界が悪い区間及びコース幅が狭い区間などの危険箇所において、追い越し禁止の指示があるときはこれに従わなければならない。ただし、当該区間を徐行している競技者がいる場合は、十分に安全に注意しながら追い越すことができる。

（追い越しの奨励事項）

第96条 追い越しを行うときは、周囲の競技者に一声かけて追い越しを行うことを推奨する。

第3節 ドラフティングレース（Drafting Race）

（ドラフティングレースの開催）

第97条 ドラフティングレース（バイク競技における下

—47—

ラフティングが認められる大会をいう。）の開催は、J T Uが承認した大会に限定する。

- 2 ドラフティングレースであっても、車両ドラフトゾーンへの進入は、危険回避のためにやむをえないときを除き、禁止する。

（安全走行義務）

第98条 ドラフティングレースにおいて競技者は、周辺状況を把握し、他競技者の動きを予想しながら競技を行う。

- 2 エアロバーは緊急時にブレーキかけることができるようにすることを想定しながら使用する。
- 3 先頭を走る競技者以外の競技者は、ブレーキレバーに手掛の届く位置をグリップして走行することを推奨する。

（周回遅れ）

第99条 ドラフティングレースにおける周回コースでの周回遅れは、コースアウトとし、審判員の指示に従ってコース左端に寄り競技を停止する。この場合において、記録は未完走（略称：DNF）とする。

- 2 前項の規定にかかわらず、周回遅れとなっても競技続行が認められるときは、追い越した競技者に影響を与えないように注意しながら競技を続けることができる。この場合において、周回遅れとなった競技者が周回遅れとした競技者に対するドラフティングをすることを禁止する。

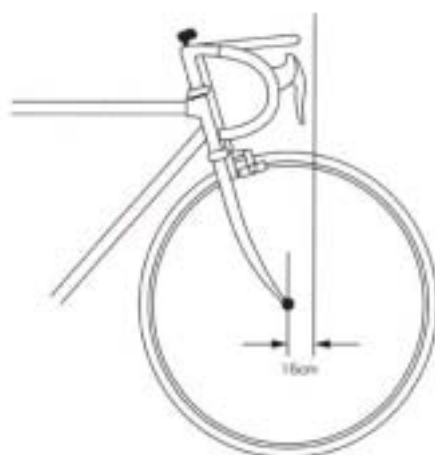
—48—

（エアロバー）

第100条 ドラフティングレースにおけるエアロバーは、次の各号に掲げる条件を満たさなければならない。

- (1) エアロバーの先端は、前輪ハブ軸より15cm以上、前方に出てはならない。

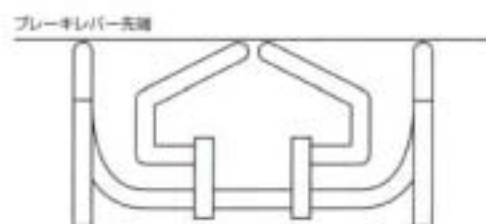
（図A）



- (2) エアロバーの先端は、左右のブレーキレバーの最前部を結ぶ直線より前に出てはならない。

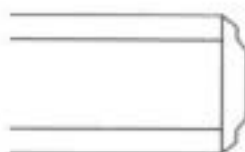
—49—

（図B）



- （3）エアロバーの先端部分が前方に向いている場合は、先端を連結しなければならない。

（図C）



- （4）エアロバーの先端部分にシフトレバーなど突起した部品を装着してはならない。

<補足> 2008 ITU世界選手権出場選手規定

2007年 ITU デュアスロン世界選手権・選考基準 (5/19:ハンガリー)

開催日: 2007年5月19日(土)

開催都市: ハンガリー・ジュール

大会ホームページ: <http://www.duathlon-wch-2007gyor.hu/>

[1] ジュニア (自費派遣)

1. 2006「第7回デュアスロン日本選手権(2007年3月11日開催)」
(カーフマンチャンピオンシップ) ジュニアエリートカテゴリーにおいて
トップから男子+10%・女子+12%以内でフィニッシュした選手
(最大6名・ロールダウンなし)
2. 強化本部推薦(上記1で定員6名に満たなかった場合)

[2] U-23 (自費派遣)

1. 2006「第7回デュアスロン日本選手権(2007年3月11日開催)」
(カーフマンチャンピオンシップ) U23 カテゴリーにおいて、
トップから男子+8%・女子+10%以内でフィニッシュした選手
(最大6名・ロールダウンなし)
2. 強化本部推薦(上記1で定員6名に満たなかった場合)

[3] エリート

- (日本選手権男女優勝者は公費派遣(ロールダウンなし)・他の選手は自費派遣)
1. 2006「第7回デュアスロン日本選手権(2007年3月11日開催)」
(カーフマンチャンピオンシップ) エリートカテゴリーにおいて
トップから男子+5%・女子+8%以内でフィニッシュした選手
(最大5名・ロールダウンなし)
 2. アジア選手権優勝選手
 3. 強化本部推薦(上記1、2で定員6名に満たなかった場合) = 以上 =

[4] エイジカテゴリー

上記[1] ~ [3] 基準での世界選手権への参加資格を持たない方は、エイジカテゴリー(5歳刻み)での出場が可能です。各年齢別上位12名まで参加することができます。余った参加枠はカーフマン年齢別選手権参加者に割り当てられます。